



与話情浮名横櫛

四編上

堂梓

へ13  
3223  
44



へ13  
3223  
44

手話

情浮名

四編

上法

横櫛

卷

好文化

國芳画

榮久

堂

梓



馬六

一

馬六

日月燈江海油風雷鼓板天地大戲場と漢土帝が聯句の  
 して世々小演戯盛りの中にも西相記と十種曲のくまを  
 巻言としてその扱亦皇國の舞臺あり天照大神の天世殿座ふかれ  
 さるるひかり鉦女命が舞曲これ所作史の始祖なり夫より今の世に  
 つる優民の其家なるを捧ふの多むらば茲にあらは演戯の道に  
 綴り業をいふるも本舞臺三尺の卓ふむらひてやうこころ  
 幕の明くも腹中の不知短女の窓戸下へい世界の中ら周夜の  
 際わたりしに書つては侍と是横櫛のい説も近きみ稀  
 ある高評の敷み入の的をそとるは急編をいといと日々  
 夜々小櫛元の催促やうとく浪の音敷幕ふむらひ  
 早持のふきぎらも二勇齋の妙手の筆を呼のふ引返して  
 明と口繪の趣向の浄よりやうと引

嘉永七甲寅歳次孟春發市

楳田舎好文記





棋園四



与三郎小船出来出  
 逆浪小漂入致身命  
 急いどと思議め  
 海中の巖が打上り  
 再生の想を  
 旭を拜し東の  
 故郷を望  
 其二



持来り

諸國

女

四ノ目

左の男は、右の男に話しかけている。右の男は、左の男の話を聞いて、何かを言っている。右の男は、左の男の話を聞いて、何かを言っている。

右の男は、左の男の話を聞いて、何かを言っている。右の男は、左の男の話を聞いて、何かを言っている。

右の男は、左の男の話を聞いて、何かを言っている。右の男は、左の男の話を聞いて、何かを言っている。



黄節口



持掛四











黄布口



梅棹山



此の掛軸は、古今東西の名家の書画を、一冊に集めて、その美しさを、人々に知らせる。その中には、有名な書家の筆跡や、名画の複製など、数多く収録されている。これによって、一般の人々も、美術の楽しみを得ることができる。また、この掛軸は、装飾としても、非常に美しい。壁に掛けて、お部屋の雰囲気を、一変させることができる。ぜひ、ご検討ください。

# 好文作 國芳画



## 三都妖婦傳

中本袋入  
三編出板  
四編五編刷刻

笠亭仙果作  
一陽齋豊國画

## 花紅葉

### 解脱絹川

一名新多の物語  
三冊よみ切

好文作  
國芳画

## 御詠染逢山鹿子

六編揃

種彦作  
豊國画

## 薄紫宇治曙

柳下亭種員作  
一壽齋國貞画

八編

仙安香 一包四六銅  
美香 坂本氏

## 御伽譚博多新織

四編  
五編  
六編

好文作  
國芳画

## 八犬傳後日譚

四編  
五編  
六編 出板

為永春水作  
一勇齋國芳画

榮久堂刊行藏板略目

